

令和5年度 アンケート結果から

令和6年3月 天王小学校

R5 天王小学校「本年度の重点努力目標」に照らして考察します

「重点努力目標」

- I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける。
- II あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす。
- III 基盤となる安心・安全・健康を大切にする。
- IV 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する。

I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける について

1 【児童】・学校は楽しいですか。

・学年・学級行事に楽しく参加できますか。

【保護者】・おさんは、学校で楽しく生活していますか。

【児童】・90%以上が「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答

・「学年・学級行事に楽しく参加できますか」については、1～4年生までで、肯定的な回答が微減しているが、5～6年生で95%以上になっている。

【保護者】・およそ95%が、「とてもあてはまる」「まあまああてはまる」と回答

↓

(考察)

- ・「楽しくない」「あまり楽しくない」と回答している児童や保護者に目を向ける必要がある。
- ・「学校は楽しいですか」の質問では高学年で肯定的な回答が多く、「学年・学級行事に楽しく参加できますか」の質問では6年生でかなり多くの児童に肯定的な回答が見られる。高学年の児童に、校内で役割をもって取り組ませていることが、この結果に表れていると考えられる。明確な役割をもたせ、自己有用感を高めていくことが大切である。

2 【児童】・授業はよくわかりますか。

【保護者】・学校は、子どもたちによく分かるように授業をしていますか。

【教職員】・「楽しさ」を大切に、全員が参加し、みんなで深め合う授業を実現することができたか。

【児童】・学年による差はあまり見られず、90%以上の児童に、肯定的な回答が見られる。

【保護者】・90%以上の保護者が、肯定的な回答をしている。

<保護者の自由記述より>

・苦手な教科のフォローがほしい。

【教職員】・「達成できた」「ほぼ達成できた」が全体の85%である。昨年の75%からよくなっている。

↓

(考察)

- ・「天王小スタンダード」を月末に、各教員が振り返り、達成度を出している。できている項目が月を追うごとに増えてきた。教師に、具体的に方策を示したことにより、子どもや保護者の「分かる授

業」という回答につながっている。

- ・「天王小スタンダード」の振り返りで、「子どもの意見からジャンプアップ発問（学びを深める発問）をする」という項目は、達成度が低い。ここを、来年度の重点課題として実践することにより、子どもたちが、主体的に追究し、真の意味で「学ぶ楽しさ」が感じられるような授業になると考えられる。
- ・高学年での教科担任制や、専科教員の導入により、一人の教員が1教科の教材研究により深く取り組めるようになっている。来年度もこれは継続する。
- ・欠席者には、オンラインで授業の様子を見せるなどの対応をしている。この方法を共有し、欠席者や学級閉鎖の時に学びが止まらないようにしたい。
- ・休み時間や、練習問題を解く時間をつかって、学習内容が定着していない児童には支援している。また、タブレット端末を用いて、その子の定着度に応じた練習問題を解くこともおこなっている。これを継続するとともに、九九をはじめとした計算練習や、平仮名、片仮名、漢字、英語などの練習は家庭でもできるよう、協力をお願いしたい。

II **あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす** について

【児童】・友達となかよく生活をしていますか。

- ・あいさつはできますか。

【保護者】・お子さんは、あいさつをしていますか。

- ・学校は、相手を思いやる優しさ等の道徳性を培い、命を大切にする心を育てていますか。
- ・お子さんは、友達となかよく生活していますか。

【教職員】・あいさつ運動に力を入れることができたか。

【児童】・「友達となかよく生活をしていますか」の質問には、どの学年も、95以上が肯定的な回答だったが、学年により、差がある。

- ・「あいさつはできますか」の質問に対して、1年生は、肯定的な回答が90%以上あったが、2年生以上では、80%台である。80%という学年もある。

【保護者】・「お子さんは、あいさつをしていますか」の質問には肯定的な回答が9割未満である。

- ・「学校は、相手を思いやる優しさ等の道徳性を培い、命を大切にする心を育てていますか」の質問には、90%から、肯定的な回答が得られているが、昨年度の95%と比べると低下している。
- ・「お子さんは、友達となかよく生活していますか」の質問には、概ね仲よくできていると回答している。

<保護者の自由記述より>

- ・人として言うてはいけないことを簡単に口にする子が多く、びっくりする。学校において楽しむことも大事だが、命に対すること、自分の発した言葉の重みなども話す機会をもっと作ってほしい。
- ・道徳や生活の授業など、考える授業の時間は大切にしてほしい。
- ・先生の目の届かないところで起きている問題が多く、相談がうまくできなくて困ることがある。
- ・挨拶を登下校時にあまりできていないように感じるので、学校でも指導をお願いしたい。

【教職員】・肯定的な回答は約87%で、昨年度の81%から微増している。

＜教職員の自由記述より＞

- ・コロナも落ち着いてきたので、あいさつ運動や委員会のキャンペーン等でほかほか言葉に取り組むとよい。
- ・まだまだ人を否定する言葉や乱暴な言葉が聞かれるので、道徳や学活などでも学ばせたい。

↓
(考察)

- ・校内でも、あたたかい言葉がけ、あいさつなど、大人が範を示していく。
- ・登校指導中、地域の方が近くに立っていらっしゃった。「地域の人にも挨拶するんだよ」「止まってくれる車の運転手さんに頭を下げるんだよ」と言うと、素直にできる子が多い。教職員が粘り強く声をかけるとともに、地域の皆様にも、登下校中、声をかけていただけるようお願いしたい。
- ・委員会活動などでもあいさつ運動等を取り入れていく。
- ・授業やその他の教育活動の中で、きちんと考えさせたい。
- ・大人が見ていないところでの諸問題について、指導が必要なところは、複数の児童から様子を聞くなどして対応している。今後もこの方法は継続するとともに、「人が見ている見ていないは関係なく規範意識をもつことが必要である」ことは、発達段階に応じて考えさせる。

Ⅲ 基盤となる安心・安全・健康を大切にする について

- 1 【児童】・病気やけがをしないように気をつけて生活をしていますか。
【保護者】・お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活していますか。
・学校は、防犯・防災・交通安全・生活安全の指導を通して安全な学校づくりに取り組んでいますか。
【教職員】・地域・家庭と連携して登下校のさらなる安心・安全をめざすことができたか。
・児童や教職員が安全に生活したり、力を発揮するために、教育環境を整えることができたか。

- 【児童】・およそ90%の児童が、肯定的な回答をしている。4年生以下の児童では、90%以上が肯定的な回答をしているが、高学年では、90%を切っている。
【保護者】・「お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活していますか」の質問には、9割弱の保護者が肯定的な回答をしている。「学校は、防犯・防災・交通安全・生活安全の指導を通して安全な学校づくりに取り組んでいますか」については、およそ95%の保護者が肯定的な回答をしている。

＜保護者の自由記述より＞

- ・登校時の並び順で、1年生が後ろの方、高学年が前の方に固まっている時があったので不安になった。
 - ・先生方が、登下校時、見守りや交通安全の指導をしてくださってありがたい。
 - ・子どもの話だと、廊下を走る子がとても多く、危なくて怖いそうです。
- 【教職員】・「地域・家庭と連携して登下校のさらなる安心・安全をめざすことができたか」については「不十分である」との回答も見られる。
・「児童や教職員が安全に生活したり、力を発揮するために、教育環境を整えることができたか」については、21%が、「不十分である」と回答している。

↓
(考察)

- ・高学年の児童で、肯定的な回答の割合が低いのは、自分たちの生活を振り返ることができているか

らであるとも考えられる。しかし、この意識を行動に移すことができていない。こまめに声をかけている教職員もいる。声をかけたり、授業で考えさせたりして、意識を高め、行動に移せるようにしていく。

- ・登下校は、地域や保護者の皆様に協力いただいている部分が多く、感謝している。並び方は、学校でも確認する。
- ・子どもが、自分たちで安全を確認して登下校できるような働きかけもする必要がある。
- ・今年度、毎月教職員がおこなっている安全点検を基に、校務主任を中心に修繕をしたり、必要なものによっては業者に修繕を依頼していた。次年度も「安全」という視点で環境を整えるとともに、子どもたちの目線からも、「安全な学校」を考えさせるとよいと思う。

2. 【保護者】・学校の講じている感染症対策により、お子様を安心して登校させることができますか。
【教職員】・新型コロナウイルス対応に万全の態勢で臨み教育活動との両立を図ることができたか。
(昨年度との比較のため「新型コロナウイルス」という言葉が残っています)

【保護者】 ・肯定的な回答は、およそ93%だったが、昨年の95%に比べれば、下がっている。

<保護者の自由記述より>

- ・学校やクラスでどのような風邪が流行っているか、学校と保護者間で情報共有してほしい。
- ・トイレの衛生面が整っているとは言えない状況。掃除道具の種類や管理がよくない。
- ・給食後の歯磨きは、おこなってほしい。

【教職員】 ・肯定的な回答が97%あったのは、昨年と同じである。

<教職員の自由記述より>

- ・換気ができていない教室がある。児童が健康のことを考え行動することができるように指導する必要がある。

↓
(考察)

- ・昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったことで、対策も緩和された。引き続き感染が広がらないように気を付けつつ、歯磨きなど、できることを考えていきたい。
- ・換気などは、教師の働きかけによって、児童が意識できるようになるものである。教師の意識を高めたい。
- ・トイレの掃除道具、トイレットペーパー、スリッパの管理等、教師が声をかけているものの、定着していないところもある。いつもきれいに整頓されているトイレもある。粘り強い指導が必要である。
- ・トイレに限らず、掃除道具は、傷んでいるものを直したり、購入したりして、使いやすい状態を保つよう、担当者が見ていく。

IV 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する について

【保護者】・学校は、通信や、ホームページなどで学校の様子をよく知らせていますか。

【教職員】・学年・学級通信、絆メール、ホームページなど、さまざまな手段を使って情報を発信することができたか。

【保護者】 約90%が、肯定的な回答をしている。

<保護者の自由記述より>

- ・連絡帳の持ち物、内容が分かりづらい。持っていったものが翌日の持ち物に書いてあることがあり、忘れた人だけなのか、更にもう一つ要るのか分からない。
- ・もう少し学校での様子が分かるとよい。
- ・修学旅行で到着した時など、無事に旅館に着きましたなど、きずなメールで教えていただけると保護者も安心できると思います。
- ・ホームページで「今週の天王小」を見ることが日課になっている。毎日ありがとうございます。子どもとの会話のきっかけにもなり、写真付きなので様子がよくわかる。

【教職員】 全教職員が、肯定的な回答をしている。

↓
(考察)

- ・毎日、ホームページを更新している。今後も続けていくことで、学校の様子を広く保護者以外の方にも知っていただきたい。
- ・宿泊行事の時の報告等は、学校に到着する時刻など、必要なことはおこなっていく。宿泊行事の時は、学校に残る教員の数も減り、対応が難しい。また、情報が多すぎることによって本当に必要な情報が伝わりづらくなる。「知らせのないのがよい知らせ」と思っていたらとありがたい。
- ・連絡帳に書く持ち物等、分かりやすく知らせるように、学校も努めていくが、子どもにも確認していただきたい。
- ・「学年通信」に翌月の予定や保護者にお願いすることが書かれている。これはどの学年も毎月出している。ただ、文字が多く文が長いこともあるので、より読みやすいおたよりとなるようにしたい。
- ・今後、学校運営協議会や地域学校協働活動を立ち上げ、組織的な地域・保護者との連携を構築していく。

いじめその他の相談について

【児童】・あなたは今、学校や家、家族のこと、友達のことなどで困っていることはありますか。

- ・困ったり、悩んだりしたとき、相談できる先生や友達がありますか。
- ・今の学年になって、いじめられたことはありますか。(ある場合)今も続いていますか。

【保護者】・本年度、いじめや問題行動に関して、学校と協力して対応する機会がありましたか。

- ・学校は、いじめや問題行動に対して親身に相談に乗ったり、適切に対応したりしていますか。

- 【児童】
- ・10%程度の児童が「困っていることがある」と回答している(学年によっては約17%)。
 - ・学年が上がるにつれて、「相談できる先生や友達がいる」との回答した児童を、3年生以下と4年生以上で比較すると、4年生以上で割合が高くなっている。
 - ・いじめられたことのある児童は、全体としては3割程度で、低学年に多い。

- 【保護者】
- ・いじめや問題行動に関して、学校と協力して対応する機会があった保護者(全体の19%)のうち、学校が親身に相談に乗ったり適切に対応したと回答した保護者は、9割以上いる反面、この質問に対して否定的な回答をしている保護者も1割程度いる。

<保護者の自由記述より>

- ・学校で起きた出来事を夕方に担任から報告されることがあるが、どう対応したらよいか指示がないため、聞くだけで終わってしまう。子どもにどう向き合うべきか教えてほしい。
- ・子ども同士のトラブルに対して事実確認がなかった。今後このようなことがないようにしてほしい。
- ・いつも優しくご指導いただき、とても親身になって考えてくださり、たいへんありがたく思っています。

ます。

- ・こちらからの相談や心配ごとに対応していただき、子どもたちに寄り添っていただいています。ただ、クラスによって差を感じることもあります。
- ・いつもとても丁寧に対応していただき、ありがたいと感じています。友達とのもめ事を、小さなことでも親身になり、子どもが納得する形で話し合いの機会を与えていただき、人間形成の面で成長できます。
- ・先生の目の届かないところで起きている問題が多く、相談がうまくできなくて困ることがある。
- ・スマホでのトラブルに適切に対応していただき感謝しています。子どもの口からは何も聞いていないので、担任の先生から聞いて驚きました。家でもいじめや犯罪につながることだと強く言い聞かせました。
- ・子どもたちが、先生方に相談した時に「様子を見ましょう」と言われることがよくある。
- ・学校で、いじめは小さなものから大きなものまでであると思っています。子どもの心に向き合ってもらえる小学校、本当の笑顔が見られる学校生活が送れる場所であってほしい。
- ・昨年度、友達関係に悩み、担任の先生に相談すると、すぐに対応していただきました。今年度、進級時は、学年の先生方が親身になっていただき、楽しく学校で生活することができました。

↓

(考察)

- ・保護者の方の自由記述から、「親身になって対応してもらい感謝している」という内容と「すぐに対応してもらえなかった、納得のいく対応をしてもらえなかった」という内容がある。
- ・子どもが困っている様子を発見した時には
 - ①事実確認をする（双方から話を聞く、周囲から話を聞く、よく観察する）
 - ②対応をする。
 - ③保護者にも連絡をする。ただし、保護者に連絡をするときには、決して、問題だけを告げるのではなく、「話を聞いてあげてください」「一緒に見守っていきましょう」など、どうしていくとよいのか、伝えたり、相談したりできるとよい。
- ・また、教員側の経験等によって、対応の仕方にも差ができる。学年主任、生徒指導主任、五役に報告し、担任や担当者が一人で抱え込まないように働きかけていく。
- ・本校は、養護教諭、通級指導担当の教員、日本語指導担当の教員、専科の教員、子どもの相談員、事務職員など、担任以外の職員も、子どものちょっとした様子や小さな変化にすぐに気づき、適切な対応ができていると感じている。また、これらの職員からの情報には大変貴重なものがあり、担任と情報を共有できていることが多い。全校の児童を全職員で育てていくことを再確認し、できるだけ多くの目で子どもたちを見ていきたい。
- ・学校だけでなく、地域からの声にも耳を傾け、適切な対応を心がけていく。

上記以外の、保護者の皆様の自由記述より

<授業・家庭学習に関すること>

- ・授業を延長しないでほしい。
- ・トイレやお茶の時間を確保してほしい。

→当然のことであり、必要なことであります。「子どもに時間を守ろうと言っている以上、教師が守るのは当然のことである」「子どもたちは、チャイムが鳴ってからは授業に身が入らない」などのことから、教師の間で常に確認していますが、できていないようで残念です。今後も、このことは守れるようにしていきます。

ただし、授業の内容により、ちょうど45分で終わらないものもあります。しかし、その場合も、トイレや水分補給の時間は確保するよう、教員の間で確認します。

- ・保健の授業は、男女区別することなく、助産師等を招いて教育してほしい。

→外部から専門の方（いわゆるゲストティーチャー）招いて行う授業は、例えば、スマホ依存の影響に関する授業で医療関係者を招いておこなったり、バランスのとれた食事について栄養士や栄養教諭を招いておこなったり、弥生時代や縄文時代の土器について博物館学芸員を招いておこなったりしています。助産師等を招いて行う保健の授業も、専門の方をゲストティーチャーとして招いて行う授業の候補として考えます。

- ・宿題の量が多い。一つのページに5、6回取り組み、コンクールプリントにも取り組んでいる。もう覚えきっているのに、他の学習時間にあてたい。

- ・長期休暇（特に夏季）の宿題の量が多すぎるように感じる。

→宿題を出す主な意図は、学習内容を定着させることと、家庭学習の習慣を身に付けさせることが考えられます。そのために、必要な内容や量であるのか、考えていきたいと思います。また、子ども自身が必要な学習を考えて家庭学習に取り組むことも大切であると思います。学年によっては、自分自身で学習内容を決めて、学年相応の時間、家庭学習に取り組んでいる学年もあります。

<学校行事に関すること>

- ・運動会の開催時期について気候の温かい時期を望みます。

→ほどよく温かい時期に開催しようとする、練習を始める頃にはかなり暑く、熱中症が心配な部分もあります。令和6年度の行事を考えたときにも、熱中症対策と寒さ対策との両面、および、他の行事との兼ね合いから考えました。今後も、多面的に考えていくようにします。

- ・運動会でリレーを復活させてほしい。（複数）

- ・組体操も個人でという印象がある。

- ・徒競走の順位がある方がよい。

- ・5、6年生の演技を4年生にも見せたい。

- ・運動会を全校で盛り上げたい。（複数）

- ・運動会が物足りない。縮小しないでほしい。（複数）

- ・運動会が半日になったのは、親子共に負担が減って助かっている。

→運動会についてのご意見はいくつかあり、保護者の皆様も運動会に対して楽しみにして、全体で盛り上げていきたいと思ったださっているのが伝わってきます。ありがとうございます。

種目（どういう種目を取り入れるか、種目の内容はどうするのか等）、児童や保護者の参加はどうか等、運動会のもち方について、検討していきます。

組体操は、安全面を考え、以前のような高く積み上げるものなどは難しいですが、マスゲームのように、全体としての美しさを評価していただくとありがたいです。

・音楽発表会をカネヨシプレイスで行うのは難しいのでしょうか？

→以前は、サンアートで行っていました。大きな舞台で行うことを楽しみにしている子どもたちも少なからずいたと思います。しかし、サンアートで行うことで、以下のような問題も見られました。

・サンアートの舞台でできる練習は、1回通す程度しかできない。動きや場所の確認が主な目的である。練習できるのが少ないため、かなり緊張して、ステージに立つのも難しい子や、大きな不安を抱える子がどの学年にも複数いた。体育館をサンアートの舞台に見立てて練習しても、規模や照明が違うため、本番とは勝手が違う。

・サンアートで発表していた時は、前日と前々日に、3学年ずつリハーサルをおこなった。そのために3日前の午後に、教職員でサンアートに楽器を搬入していた。こうすると、3日前の午前中までしか鉄琴、木琴、太鼓などの大きな楽器の練習をすることができない。体育館で行えば、練習時間に融通が利く。

こうしたことに、教職員の間から場所について検討の必要があるとの声があがりました。もちろん、大きなホールで行うよさもあります。教職員で検討を重ね、子どもが、練習の成果を一番自信をもって発揮できる場所を考え、学校の体育館での開催となりました。

ちょうど、コロナ禍やサンアートの工事を挟んでの、場所の変更となったため、コロナや工事の関係で体育館での開催となったと思われる方も多いようですが、体育館での開催となったのは、前述した経緯があります。

学校からの説明不足であったことは申し訳ありませんでした。ご理解をお願いします。

<安全・健康に関すること>

・南台の通学路で道路を横切るところに信号を付けてほしい。

→保護者の皆様の見守りに感謝しています。信号の設置について、条件等で難しいところがあるようですが、毎年、要望は出していきます。

・首を温めると、風邪をひきにくくなるようなので、教室でのネックウォーマーを認めてもらえると学級閉鎖も減ると思いますがどうでしょうか？

→冬季には、教室および体育館はエアコンによってかなり温かくなっています。そのため屋外との温度差によって風邪をひくのを最小限に食い止めるため、室内ではコート類を脱ぎ、屋外に出たときにコートを着るよう、指導しています。ネックウォーマーも同様に考えています。ただ、何らかの理由（持病がある、医師から指示されている等）により、首を温めることが必要な場合は、個別で対応しますので、その時期になりましたら、担任までお伝えください。

<学用品の購入に関すること>

・鍵盤ハーモニカなどは、学校で購入してほしい。ホースや吹き口を個人で購入して負担を減らしてほしい。数年しか使わないものを家庭で負担するのはもったいない。

→保護者の、金銭的な負担軽減はできるだけしていきたいと、考えています。授業で使う教材等も、本当に必要なのか、この教材が適切だったのかを常時振り返るとともに、年度末にまとめ、次年度購入の参考にしています。ただ、鍵盤ハーモニカは、授業だけでなく、休み時間などにも演奏している姿が見られます。特に、音楽発表会の前となると、休み時間や、少しの空いた時間に練習する姿があります。また、本校では、高学年でも使用することが多くあります。こうしたことから、鍵盤ハーモニカを個人購入とさせていただいています。

<教職員について>

- ・一部の教職員の言葉遣いが気になる。
→適切な言葉遣いについては、教職員全体で、引き続き、考えられるようにしていきます。

このほか、個別懇談会を行う時期、授業参観の時間に関するご要望（1時間目だけでなく、午後開催や終日など）、掃除の仕方に関する事、学校でもうがいをさせてほしいとのご要望、PTA関係のものもありました。

個別懇談会を行う時期については、他の行事等や授業時間数、効果的な時期等を考慮し、令和7年度以降の年間計画を考える際の参考とさせていただきます。授業参観の時間は、子どもが一番集中しやすい時間帯と保護者の方々のお仕事等の都合も考え、このご意見も参考にしながら計画していきます。

掃除の仕方については、子どもたちの安全面、衛生面に配慮しながら、必要なところは見直したり、道具等をできる範囲で購入したりしていきます。

また、うがいについても、うがいをするタイミング、方法、場所等を考えていきます。

なお、PTAに関する事は、PTAの役員の方々に伝えていきます。

多くのご意見をありがとうございました。



天王小学校創立50周年記念キャラクター

「てんてん」